

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

## 佐藤繊維株式会社

寒河江市にある佐藤繊維株式会社の沖館佳奈さん取材しました！

沖館さんは金沢美術工芸大学を卒業した後、2021年に入社しました。

現在はニット部第二工場編立課で、全自動横編機のオペレーターをしています。

### (1) 仕事内容編

——現在の仕事内容について教えてください。

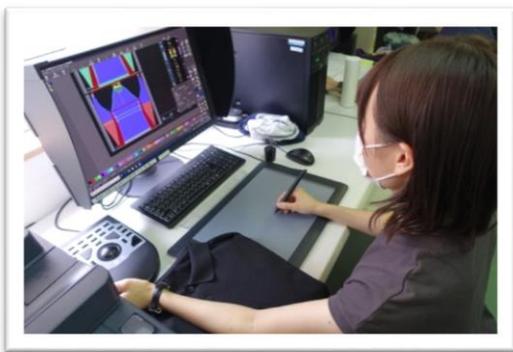


私の仕事は、全自動横編機のオペレーションです。私が担当するのは、ホールガーメントといって糸から完成品のニットになるまで全自動で編むことができる機械です。途中で糸が絡んでしまうなどのエラーが出ることがありますので、そのときの手直しや点検を行います。出来あがった商品を出荷する仕事もしています。

それと、まだ担当になってはいないのですが、「柄組（がらくみ）」の勉強もしています。柄組とは、ニットの編み方をパソコン上でプログラミングする仕事です。将来的に、柄組の仕事をしたと思っているので、先輩に一对一で教えてもらって勉強している最中です。

——柄組とは、具体的にどんな仕事ですか？

まず、企画室のデザイナーから商品の出来上がりのイメージ図と寸法が渡されます。柄組は、それに沿ってパソコン上で商品の具体的なデザインや形を指定し、プログラムを組んで編み方を編機に指示するデータをつくり、編機が実際に生産できるようにするまでの仕事です。このデータを編機に読み込ませることで、着ることができる状態のニットが1時間ほどで、自動で編まれて出てきます。



——仕事に関する勉強は、会社の方からサポートがあるのですか？

あります。今は特定の先輩をつけていただいて、教えてもらっています。他にも教えてくれる方、ベテランの方が大勢いるので、皆さんからいろいろ教えてもらって勉強している感じです。

——入社してからこれまで、どのような仕事をしてきたのですか？

入社 1 年目は 4 カ月ごとに研修がありました。まずは商品の枚数を数えて取引先に実際に送るなどの出荷の仕事をしました。そして次の 4 カ月は本社工場の編立の仕事をして、その次から現在の第二工場です仕事をするようになりました。

研修中にすべての部署の話聞いて、部署を異動しながら希望の配属を考えることができますので、自分の適性を知ることができます。

——佐藤繊維に入ってよかったと思うことを教えてください。

未経験でニットの世界に入りましたが、ベテランの先輩がたくさんいるので、どこまでも掘り下げることができて楽しいと思えます。佐藤繊維では糸づくりから服をつくるまで関わることができますが、最初の糸だけでも奥が深く、ゴールがないような感じですね。やりがいがあります。



## (2) 職場編

——沖館さんのご出身は宮城県、大学は石川県ですが、それまであまり関わりのなさそうな寒河江という地域で就職したのはなぜですか？



就活のときに、地元近く、行ったことのあるところがいいなと思っていました。それで高校生のときに、佐藤繊維のセレクトショップ「GEA」に遊びに行ったのを思い出し、会社見学に行ってみたのが興味を持ったきっかけです。

大学は美術系で日本画を学んでいたもので、そこで培った感覚をいかせる職場につきたいとは思っていましたが、洋服を作るという分野は全然知らなかったのですが、服を着るのは好きだったので仕事として選びました。

——地元に近いところでの就職がいいと考えたのはどうしてですか？

まず東北地方に絞った理由は、就活当時にコロナウイルスが流行り始めていて、大学がある石川県からなかなか帰省できない状況だったことがあります。この状況が続くのであれば両親のことが心配でしたし、なにより地元が好きだったので、帰れなくなるのは嫌だという思いがありました。それで自分の好きなことができ、かつ地元に近いところに就職しようと考えました。

——佐藤繊維には山形県以外の出身の方が多いのですか？

ニット業界では佐藤繊維は知名度があるので、日本中から集まってくるようです。定期採用では山形出身者と県外出身者が2：8の割合になっているそうです。

同期は京都や福岡などいろいろな地域から来ていて、専門的に服飾を学んできた方も多いため、とても刺激を受けますね！私は服飾が未経験だったのですが、みんな服が好きなのでいろいろ勉強になります。



——社内の雰囲気はどのような感じですか？

明るいですね！お互いを役職でなく名前と呼ぶ習慣があって、ニックネームで呼び合うこともあります。社員同士が趣味で繋がることもありますね。もちろん社内にはいろいろな人がいて、ものづくり一筋で職人のような方もいます。

——社長はどんな方ですか？



イケイケな感じですよ（笑）。服に対してすごくストイックで知識も豊富です。佐藤繊維は YouTube にチャンネルをつくっていますが、そこに出てくるキャラが濃い方が社長ですよ（笑）。服に対する情熱がすごい方です！社長は営業で海外に行っていることもあります。毎週の朝礼や交流会・親睦会にも出席しますので、社長に会う機会は多いです。

——福利厚生はどのようなものがありますか？

コロナ前は親睦会、BBQ 大会、忘年会、寒鰯汁大会があったそうです。冬にやる忘年会がユニークで、新入社員が自社製品を着て、自己紹介をかねてランウェイを歩くというファッションショーも行ってたそうです。

コロナ後はできなくなったので、かわりに「GEA」で使うことのできるクーポンが配ら

れました。「GEA」で服を買って、親にプレゼントしたこともあります。それがたまたま上司の編んだニットだったこともありました（笑）。

有給休暇も取りやすいと思います。「遊びに行ってきます」と言って取得しています（笑）。育児休業や、子どもの成長具合によって短時間勤務をしている社員もいますね。



### (3) ある日の過ごし方編

#### ●8:00 【朝礼】

朝礼では、その日の流れを全員で確認します。

#### ●10:00 【自社加工で寸法チェック】

商品を洗い加工をしてみて、乱寸(サイズのばらつき)がないか毎日確かめます。



#### ●12:00 【お昼休憩】

#### ●13:00 【編地をまとめて後工程にわたす】

大口の製品を担当しているので、数を間違えないように慎重に行います。

#### ●15:00 【糸のセッティング】

#### ●16:00 【機械・糸の点検】

糸の色や通し方があっているか、毎日点検します。



#### ●17:00 【柄組の勉強】

自分の仕事が終わった後は、柄組みの勉強を先輩から1対1で教えてもらいながら行います。最近では、実際の製品の寸法修正などもさせてもらえるようになりました。



## (4) むらやまでの暮らし編

### ——村山地域に就職するメリットはどんなところにあると思いますか？

村山は風景がすごくよくて、仕事の前後にそれを見ることで気分を切り替えられるのが素敵だと思います。自然や季節感からインスピレーションを受けて、制作に取り組もうと思えるところも良いところだと思います。あと、ご飯がおいしいので毎日いっぱい食べています(笑)。

### ——休日はどうのような過ごし方をしていますか？

車で山に行ったり、海に行ったりしています。それと同期とシェアハウスをしているので、一緒に遊園地に行ったりご飯を食べに行ったりしていますね。

### ——シェアハウスというのはうらやましいです！いつ頃からシェアハウスしているのですか？

本社から歩いて5分のところに寮も整備されているので、前はそこに住んでいました。県外出身の同期とシェアハウスの話が出て、今年の6月頃から借りて住み始めました。会社まで車で10分という出勤がしやすいところに住んでいます。



### ——山形でおすすめの場所がありますか？

やっぱり自然とか、パワースポットとかですね。特に朝日町にある「大沼の浮島」がおすすめです。神秘的なところなのでぜひ行ってみてください！

## (5) まとめ編

### ——今後の目標はありますか？

柄組の仕事を任せてもらえるようになることです。ですが、ただ言われた仕事をやるのではなく、企画チームに提案したりするような自分のセンスを活かせる仕事をしていきたいと思います。

今、柄組を担当している社員さんの中には、自分で作った編地を社長に直接持って行って提案する方もいて、趣味と仕事と一緒にいるような、仕事を楽しんでいるような感じがします。私もそういうふうになりたいと思います。

### ——就活生へ一言お願いします！



私の経験からですが、あまり難しいことを考えないで、好きなことをやるのがいいのかなと就職してから思いました。コロナ禍だったので必死になって未経験の分野の企業もいろいろ受けていましたが、結局ものづくりという自分が好きなことに落ち着いたので。やっぱり仕事をしているときも、好きなことであればつらいことも受け流せると思います。

———ありがとうございます！

沖館さんは今の仕事をしっかりやりつつ、将来に向けての勉強も怠らない様子が印象的でした！そのような向上心あふれる社員を受け止め成長を手伝ってくれるような制度や先輩がそろっている会社だと感じました。

工場見学でも、ごみになるものを極力減らそうという工夫がいたるところにあり、SDGs が叫ばれる現代に適応している会社であることも分かりました。



【インタビュアー：山形大学人文社会科学部 成澤亜衣、浅野隆志、須藤佑李】

## 佐藤繊維株式会社

---

★独創的な糸で世界のファッションを変える寒河江のニットメーカー

原毛の調達、紡績、染色、編立、縫製などの一連の生産から販売まで社内一貫体制を取り、トータルプロデュースを行う国内唯一の総合ニットメーカーです。

★平成 21 年「第 3 回ものづくり日本大賞経済産業大臣賞」、平成 24 年「第 18 回東北ニュービジネス大賞」、平成 29 年「地域未来牽引企業選定」

- ・所在地 山形県寒河江市元町 1-19-1
  - ・設立 昭和 29 年 3 月
  - ・従業員数 219 名（男性 69 名、女性 150 名）
  - ・事業内容 紡績業・ニット製造業
  - ・URL <http://www.satoseni.com>
-